

令和元年度 教育ふれあい懇談会

令和2年1月24日（金）
三好市立辻小学校

懇談会テーマ

「学校・家庭・地域の三者協働で進める食育について」

学校教育の中核に食育を位置付けた経緯や地域や保護者の方々がどのように関わっているか、また、今後の食育のあり方等について、意見交換を行いました。

県教育委員会出席者

美馬 持仁 教育長
辻 貴博 委員
藤本 宗子 委員
小林 信行 委員
河口 雅子 委員

学校出席者

内田 公生 校長
橋本 浩司 教頭
真鍋 温子 教諭
岡 慎太郎 教諭

三好市教育委員会出席者

竹内 明裕 教育長
宮内 一也 学校教育課長
小林三喜代 学校教育課主幹

地域・保護者出席者

堀江 巨 学校評議員
山田 直子 学校評議員
土井 清子 人権教育指導員
前川 順子 三好市教育長職務代理者
吉岡 弘恵 学校訪問指導員
近藤 嘉男 三好市学校給食センター所長
安藤 三夫 PTA会長
仁尾 理子 PTA食育委員長
元木 由紀 PTA食育副委員長



最初にご自身の活動や今後の食育のあり方等について、お話をいただきました。

主な発言内容

■PTA食育委員会を中心にいろいろな活動をしてきて、地域、家庭、学校を含めた活動が根付いてきている。食育は楽しんで取り組んでいくことが大切なので、楽しんで食について学んでもらいたい。

■PTA食育委員会では子供の成長を学校とも共有できるようになり、他の家庭の話を聞かせてもらったり、知らなかった情報を教えてもらったりと、自分自身も成長できるいい機会となっている。地元の食を愛し、心も体も元気になってもらえるお手伝いがしたい。

■婦人会として「いももちづくり」を行っており、子供たちも楽しんで取り組んでくれるので、子供たちと触れ合いながら、楽しくさせてもらっている。また、独居老人宅への給食サービスなど、食を通して地域貢献できればと思っている。

■地域活性化のために「にこにこ朝市」として、山菜ごはんや天ぷら、また、野菜の販売などを行っている。土曜日に行っている所以子供たちもたくさん来てくれる。いろいろ質問を考えてくれたり、子供たちとのつながりもできたりして、たいへんうれしく思っている。

■学校と地域をつなぐコーディネーターをしている。食育はたいへん重要だし、学校と地域の方を結びつけるために地道な声かけをこれからも行っていきたい。



食が育む
地域の絆





がつなぐ地域と学校

続いて、意見交換を行いました。主な内容は以下のとおりです。

が育む感謝の心



- 辻小学校のすばらしい取組により、子供たちはどのように変化してきているのか。

○学校の学びを家庭へ持ち帰るようになった。学校での学びが家庭での学びへとつながっている。

○家庭でも子供から教わることが増えている。



- 徳島県の課題として糖尿病や肥満があるが、こうした健康課題と食育をどのように結びつけているのか。

○保健の授業で生活習慣病に関する学習は行っている。食育の学習があったことで、子供たちの健康に対する意識も深まってきている。

- 食育に取り組んでいこうと思ったきっかけは何だったのか。

○子供の安全のために、勉強のために、生活のために学校と地域がつながるのは非常に大切。その架け橋になるのがどの世代の人にとっても重要な「食」しかないと思った。

- 他の小中学校、また、中学校に上がったときの連携はどのようにしているのか。

○管内の校長会等、情報交換の場はあるので、幼小中と義務教育の間は発達段階に応じた、縦の連携はある程度できている。



- 美馬教育長からは、

人と人をつなぐものは「食べること」。そこに着目して、地域と学校をつなぐという発想がたいへんすばらしい。まだまだ、これから取組も進化するだろうし、教員もPTAも入れ替わりがある。その中でどのように継続していくか。また、横のつながりとして県内にどのように広めていくかが課題だと思う。われわれもそのお手伝いをしっかり行ってまいりたい。